

モンテネグロの国営電力会社 EPCG と 蓄電システムに関する戦略的協力について覚書を締結

2026年5月7日

株式会社パワーエックス

株式会社パワーエックス（本社：岡山県玉野市、取締役 代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕、証券コード：485A）は本日、モンテネグロの国営電力会社である Elektroprivreda Crne Gore AD Nikšić 社（以下「EPCG」）と、蓄電システム（BESS）に関する覚書（MOU）を締結しました。



本覚書では、モンテネグロにおける再生可能エネルギーの大規模導入と系統安定性の強化を支援するため、3年間で約 500 MWh の蓄電容量の供給を目標としています。

バルカン半島に位置するモンテネグロは、2025年12月に「国家エネルギー・気候計画」を採択し、2030年までに最終エネルギー消費に占める再生可能エネルギー比率を50%以上とする目

標を掲げています。同国最大の電力会社である EPCG は、電力システムの近代化と再生可能エネルギーの統合に取り組んでおり、蓄電システムをその中核に据えています。

本覚書に基づき、両社はシステムの信頼性向上、ピークシェービング（負荷平準化）、周波数調整を支援する BESS 導入計画を共同で策定します。導入後のアフターサービスについても、パワーエックスが一貫して対応します。また、モンテネグロにおける BESS 組立拠点の設立可能性についても検討を進めます。

モンテネグロは EU 加盟候補国であり、イタリアとの海底連系線も有することから、欧州のクリーンエネルギーインフラ市場における重要な拠点となり得ます。パワーエックスは本協力を基盤に、BESS 事業の欧州展開を目指します。

パワーエックスの取締役 代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕は、次のように述べています。

「蓄電システム（BESS）は、再生可能エネルギーの導入拡大を支えるとともに、電力システムの安定性・柔軟性・レジリエンスを確保するうえで、現代のエネルギーインフラに不可欠な存在となりつつあります。日本を代表する BESS プロバイダーとして、EPCG とのパートナーシップを通じてモンテネグロのエネルギートランジションと電力システムの近代化に貢献できることを大変嬉しく思います。本協力を通じ、先進的な蓄電ソリューションの展開はもとより、現地での蓄電システム組立拠点の開発も視野に入れ、モンテネグロおよび周辺地域における長期的な事業基盤の構築を目指してまいります。」

EPCG CEO ズドラヴコ・ドラガシュは、次のように述べています。

「本パートナーシップは、当社の電力システム近代化に向けた重要な一歩であり、イノベーションとサステナビリティを軸としたエネルギートランジションに対する EPCG のコミットメントを改めて示すものです。パワーエックスとの協力により、再生可能エネルギーの安定的な系統統合とモンテネグロの長期的なエネルギー安全保障に欠かせない先進的な蓄電技術へのアクセスが可能となります。」

パワーエックスについて

株式会社パワーエックスは、岡山県玉野市に本社を置き、東京にオフィスおよび R&D センターを構えるエネルギー貯蔵企業です。東京証券取引所グロース市場に上場しています。蓄電システム（BESS）、量産型コンテナデータセンター、蓄電池型超急速 EV 充電システムの開発・製造に加え、系統蓄電所の開発・運営も手がけています。パワーエックスの蓄電システムは、これまでに国内 153 件のプロジェクトで採用され、累計採用容量は 2.8 GWh に上ります。

詳細は <https://power-x.jp/> をご覧ください。

EPCG について

Elektroprivreda Crne Gore AD Nikšić 社（EPCG）は、モンテネグロの国営電力会社であり、同国の電力の大部分の発電・送電・配電・供給を担っています。大規模水力発電所や主要火力発電所に加え、風力・太陽光発電の拡充を進めており、総発電容量は約 874 MW です。モンテネグロのエネルギートランジションにおいて中心的な役割を果たしています。

詳細は <https://www.epcg.com/> をご覧ください。

本プレスリリースには将来の見通しに関する記述が含まれており、実際の結果は予測と異なる場合があります。記載内容は覚書に基づくものであり、確定的な供給契約を構成するものではありません。具体的なプロジェクトのスケジュール、供給量、投資額、および最終契約は、両社間の今後の協議を経て決定されるものであり、変更の可能性があります。パワーエックスは、重要事項の決定に際し、東京証券取引所の規則に従い適時開示を行います。

【報道関係者お問い合わせ窓口】

株式会社パワーエックス 社長室 広報担当(担当者:大津)

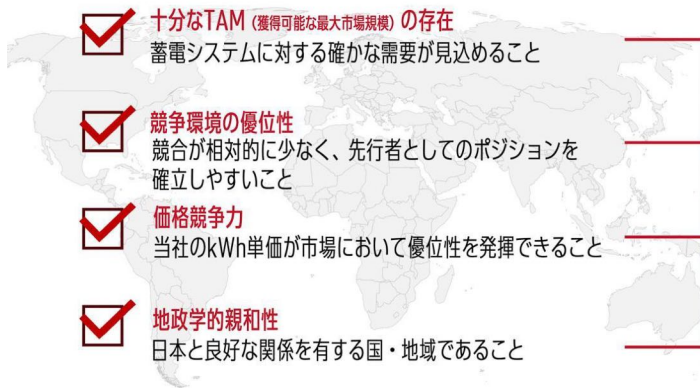
Email: pr@power-x.jp TEL: 050-1754-0205

【参考情報】

当社の海外展開戦略について

PowerX 海外 Go-To-Market 戦略

ターゲット市場の選定基準



Go-To-Market

当社は、蓄電システム (BESS) 事業の海外展開において、これら4つの条件が重なる市場を戦略的ターゲットと位置づけます。

これらの条件を満たす重点エリアとして、東南アジア、アフリカ、南米、東欧を特定しており、今後これらの地域への本格的な進出を推進してまいります。

モンテネグロについて

